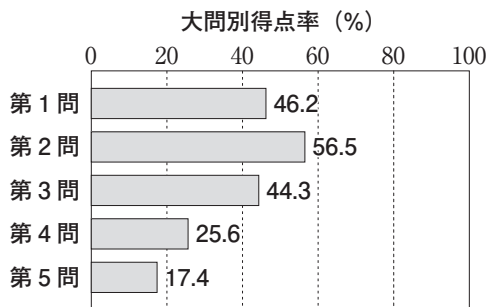
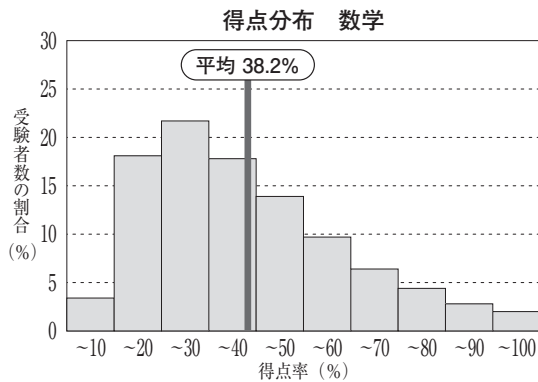


数 学 [高 1 生部門]

高校 3 年間の土台となる基礎から固めていこう

I. 全体講評

全国統一高校生テスト（高1生部門）数学の出来はどうだっただろうか。今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）では、学習の進捗を鑑みて中学校範囲と数学Ⅰ（数と式、2次関数）、数学A（場合の数）から、全マークシート形式にて出題を行った。今回のような問題は、現段階では難しいと感じた人も多いだろうが、今後の自分の努力が次の全国統一高校生テストでの得点の伸びとなってそのまま表れるようになっていく。次回の全国統一高校生テスト（10月28日（日）実施）も必ず受験し、目標得点を達成してほしい。今回の結果を受け、次の全国統一高校生テストに向けてやるべきことは、当然一人ひとり違うはずだ。得点が異なる人ではやるべきことが異なってくるし、たとえ得点と同じでも間違えた問題によって勉強の仕方は違ってくる。以下の学習アドバイスや合格指導解説授業を参考に、自分のプランにあった学習方法を学び取ろう。



II. 学習アドバイス

◆基礎固めを徹底しよう

高校の数学と中学校の数学の最も違うところは、同じ3年間で学ぶ量が圧倒的に増える点である。この教科の特性が積み重ねであることも、苦手な生徒が増える要因だが、逆に得意科目にするために1年の今の時期から最も重視して欲しいのが各分野の「基礎」である。基礎とは、おおよそ教科書の例題レベルの内容と考えてよい。この例題レベルの問題の解き方を覚えるのではなく、何を求めるために、どのような計算を行っているか、さらに別の解き方はないか、まで理解を深めることに努めよう。そうすることで、今まで漠然と解いていた問題に対する見方を変えることができる。

◆夏休みが終わる前に弱点克服

高1の今の時期から綿密な計画を立てても、計画倒れになってしまう可能性が高いので、大まかな計画を立てて学習を進めていこう。まず、今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）と学校の定期試験を利用して、自分の弱点を把握すること。特に数と式、2次関数を学習していく中で苦手と感じたならば、それを必ず夏休みが終わるまでに克服しておこう。これらは高校3年間の数学の土台となる分野なので、時間のある今のうちに弱点を克服し、理解を深められるかが、数学を得意、不得意にする鍵である。

◆さらに先取り学習を

数と式、2次関数などの基礎を完成させ、可能ならば数学Ⅰ・A 全分野の先取り学習をしよう。この先どのようなことを学ぶのか、予め知り、全体像を見ておくことで学習効果は飛躍的にアップする。

今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）で、自分の弱点がある程度ははっきりしたと思うが、結果を一喜一憂するのではなく、学習のペースメーカーとしていくために、次回10月28日実施の全国統一

高校生テスト（高1生部門）も引き続き必ず受験しよう。また、分野ごとのより詳しい得意不得意を知りたい人は、8月5日の「大学合格基礎力判定テスト」を受験するとよい。この模試をほぼ3ヶ月に一度受けることで「基礎」の定着度を正確に計ることができる。

さらに、今回の全国統一高校生テスト（高1生部門）に対する合格指導解説授業では、問題に対する解説はもちろん、今後の学習方針についても、明確に述べている。解説を読んだだけでは理解できない部分がある人は必ず、計画的に学習を進めていきたい人も是非、合格指導解説授業を受けよう。